

将来都市像について

資料 1

◆ 将来都市像とは・・・

市が目指すべき理想のまちを表したもの

これまでの将来都市像	
第1次新座市総合振興計画（基本構想）	（昭和48年度～昭和59年度）
「自然と人間の調和した住宅都市」	
第2次新座市基本構想総合振興計画	（昭和60年度～平成12年度）
「自然と人間の調和した健康都市」	
第3次新座市基本構想総合振興計画	（平成13年度～平成22年度）
「元気の出る 人と自然が共生する 快適環境都市」	
第4次新座市基本構想総合振興計画	（平成23年度～令和2年度）
「連帯と協働で築く 雑木林とせせらぎのある 快適創造都市にいざ」	

将来都市像について

【庁内検討で出た将来都市像に入れたい『キーワード』・『イメージ』】

『キーワード』

暮らし 豊かさ（豊かな） 人 緑 プラス 未来

住みやすい（住みやすさ、暮らしやすい、住み心地）

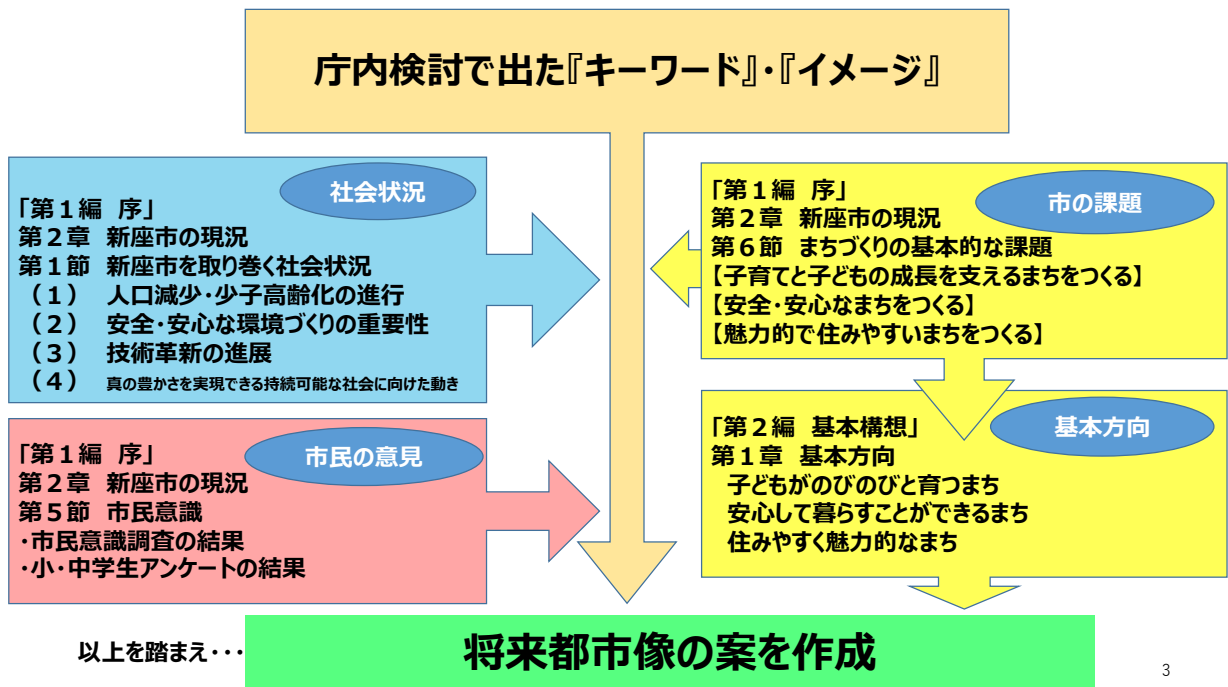
『イメージ』

住みたくなる（引っ越してきたくなる） 自然の豊かさ

新座に憧れる 市民が自信を持てる 便利さ

少子高齢化に対応するもの 新座ならではのキーワード

文化的な生活 市民アンケート結果を基にする



3

第2章 将来都市像

「基本構想」 2 ページ

未来もずっと 暮らしに『プラス』が生まれる豊かなまち 新座

人口減少・少子高齢化という全国的な問題が進行する中でも、新座市が、今ある魅力を更に磨いて未来につなぎ、これからもずっと「プラス」が生まれる人々の笑顔と活気にあふれた豊かなまちであることを目指して掲げたもの。

4